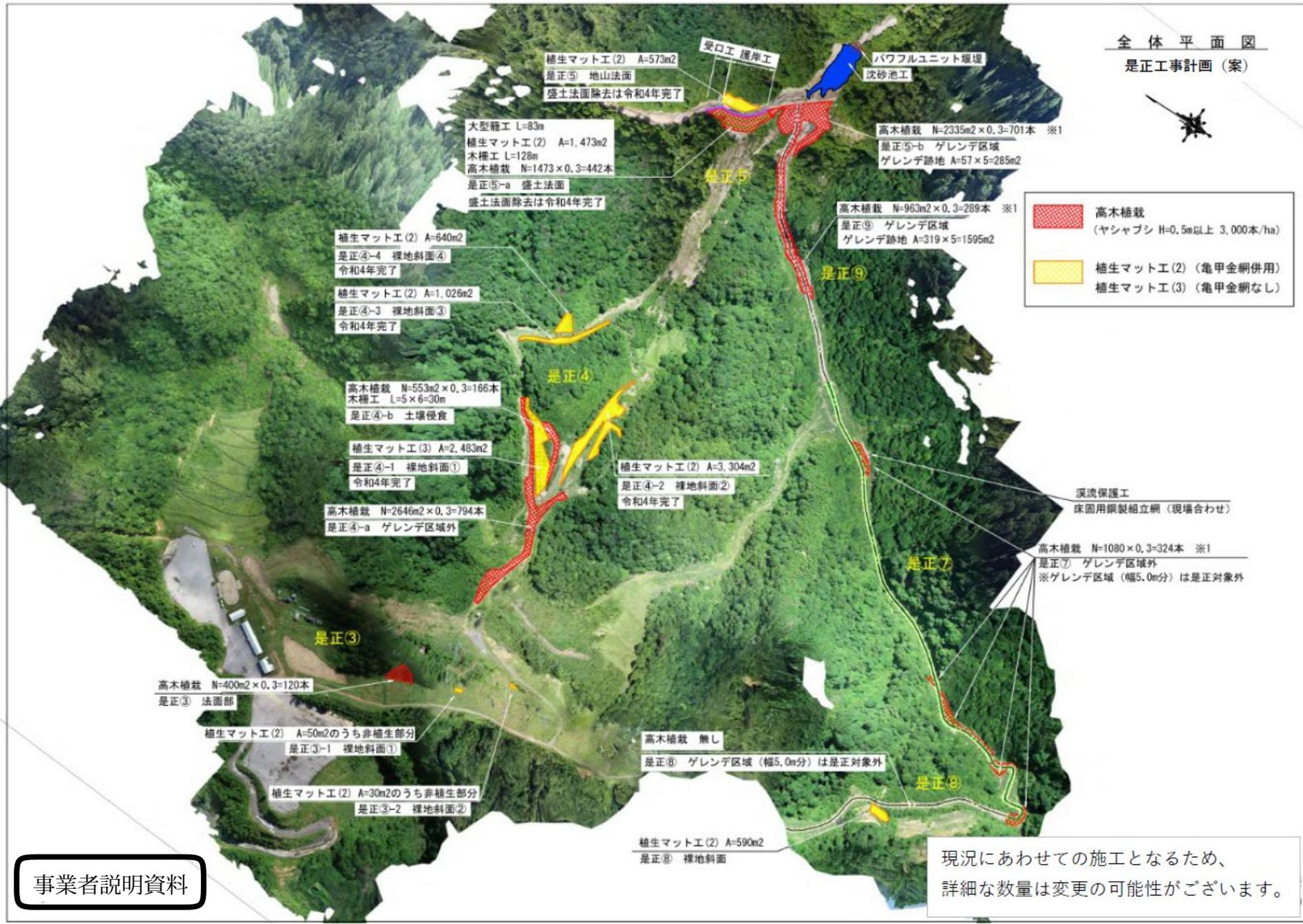


全体平面図
是正工事計画 (案)



高木植栽
(ヤシヤシシ H=0.5m以上 3,000本/ha)

植生マット工 (2) (亀甲金網併用)
植生マット工 (3) (亀甲金網なし)

補生マット工 (2) A=573m²
是正⑤ 地山法面
盛土法面除去は令和4年完了

受口工 護岸工

パワフルユニット堰堤
沈砂池工

大型籠工 L=83m
植生マット工 (2) A=1,473m²
木樺工 L=128m
高木植栽 N=1473×0.3=442本
是正⑤-a 盛土法面
盛土法面除去は令和4年完了

高木植栽 N=2335m²×0.3=701本 ※1
是正⑤-b ゲレンデ区域
ゲレンデ跡地 A=57×5=285m²

高木植栽 N=963m²×0.3=289本 ※1
是正⑨ ゲレンデ区域
ゲレンデ跡地 A=319×5=1595m²

植生マット工 (2) A=640m²
是正④-4 裸地斜面④
令和4年完了

植生マット工 (2) A=1,026m²
是正④-3 裸地斜面③
令和4年完了

高木植栽 N=553m²×0.3=166本
木樺工 L=5×6=30m
是正④-b 土壌侵食

植生マット工 (3) A=2,483m²
是正④-1 裸地斜面①
令和4年完了

植生マット工 (2) A=3,304m²
是正④-2 裸地斜面②
令和4年完了

高木植栽 N=2646m²×0.3=794本
是正④-a ゲレンデ区域外

渓流保護工
床固用鋼製組立柵 (現場合わせ)

高木植栽 N=1080×0.3=324本 ※1
是正⑦ ゲレンデ区域外
※ゲレンデ区域 (幅5.0m分) は是正対象外

是正③

高木植栽 N=400m²×0.3=120本
是正③ 法面部

植生マット工 (2) A=50m²のうち非植生部分
是正③-1 裸地斜面①

植生マット工 (2) A=30m²のうち非植生部分
是正③-2 裸地斜面②

高木植栽 無し
是正⑧ ゲレンデ区域 (幅5.0m分) は是正対象外

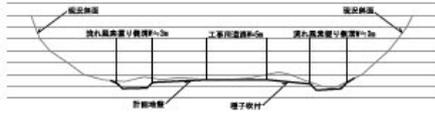
是正⑧

植生マット工 (2) A=590m²
是正⑧ 裸地斜面

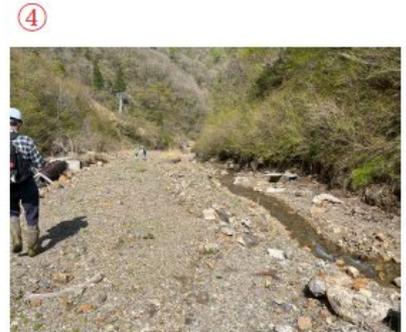
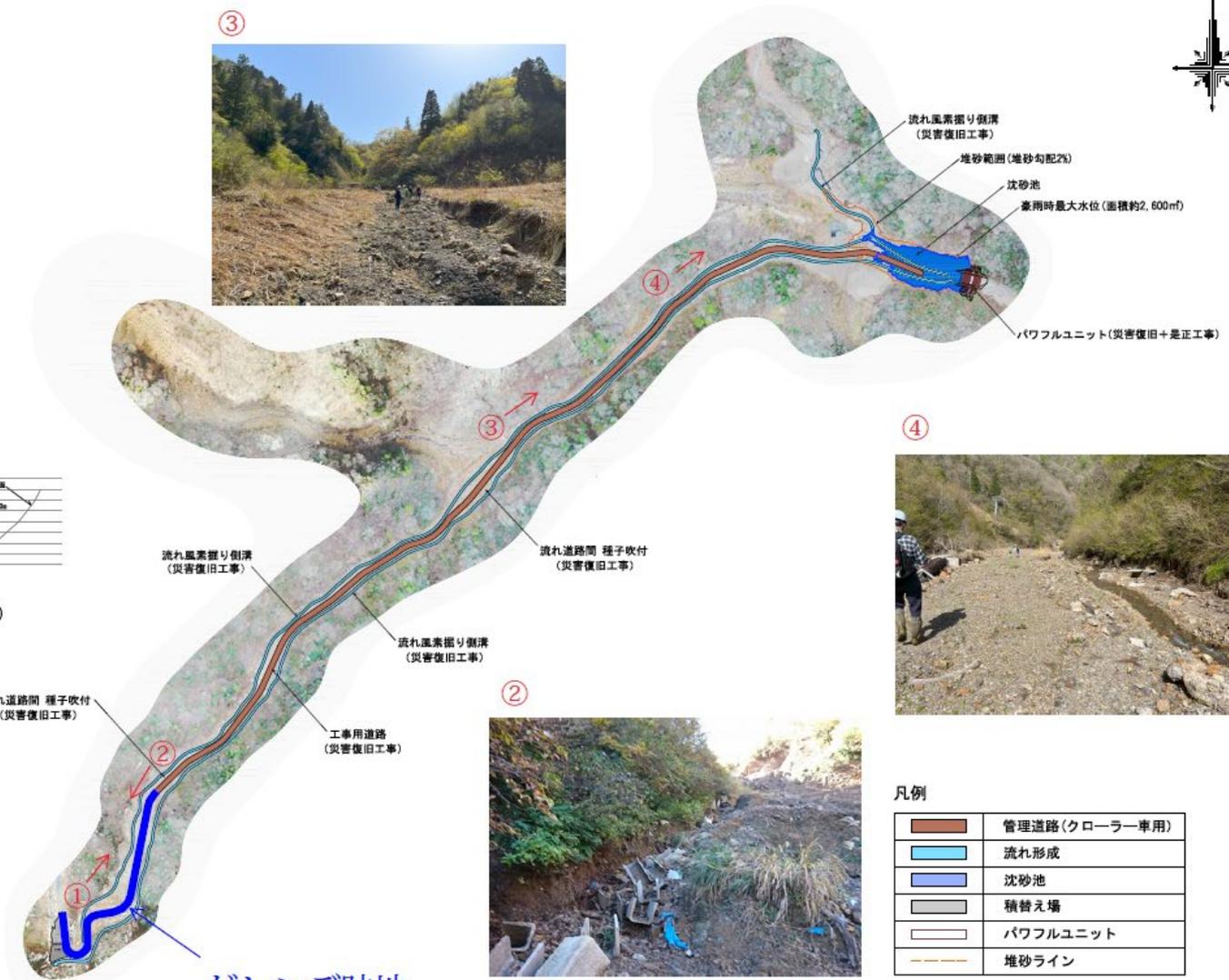
事業者説明資料

現況にあわせての施工となるため、
詳細な数量は変更の可能性がございます。

ゲレンデ部災害復旧・是正変更計画図 S=1:4,000 (A3)



標準断面図 S=1:400 (A3)



主に水みちができていない箇所に素掘り側溝設置予定



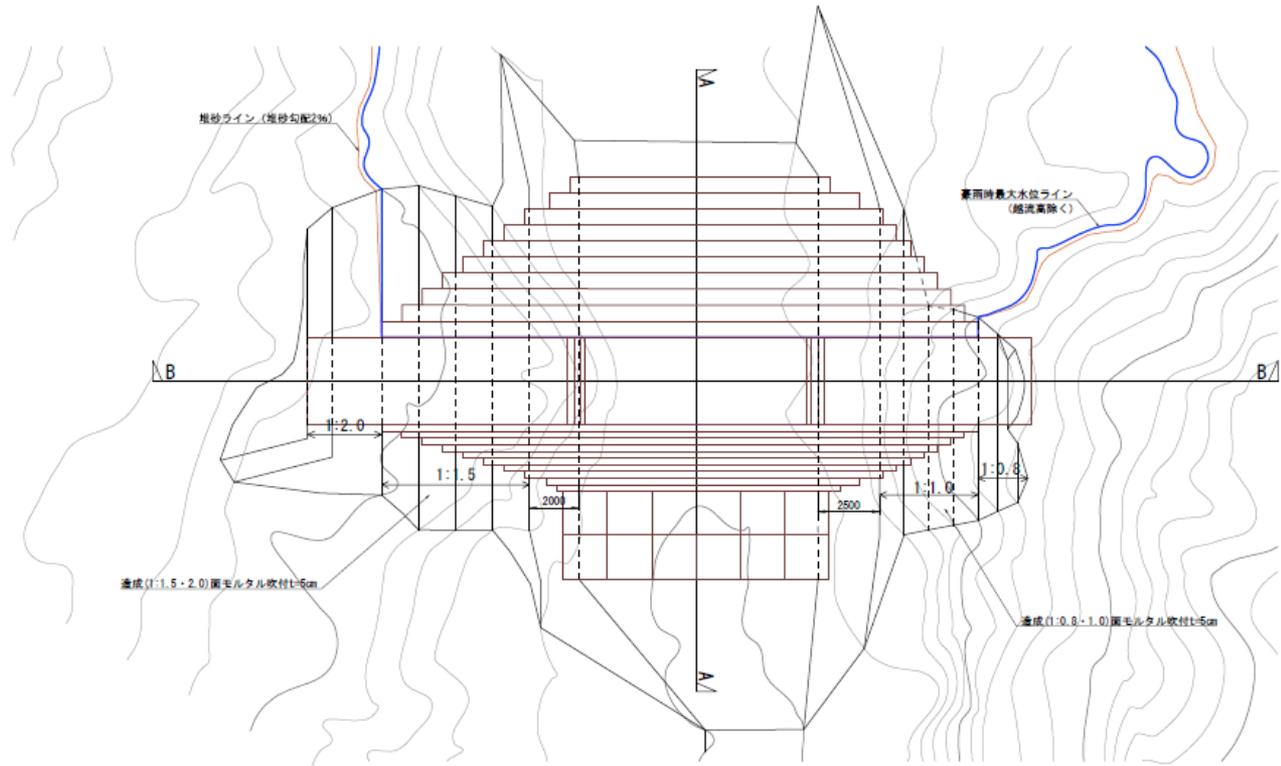
散乱しているU字溝は撤去予定

凡例

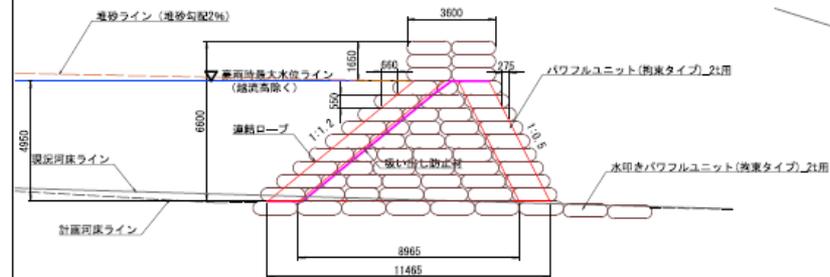
	管理道路(クローラー専用)
	流れ形成
	沈砂池
	積替え場
	パワフルユニット
	堆砂ライン

※本計画図は令和4年12月8日ドローン撮影に依るオルソ画像を基に作成しているが、現況は日々変わっており実際の工事に当たっては現況を優先し全て現況合せとすること。

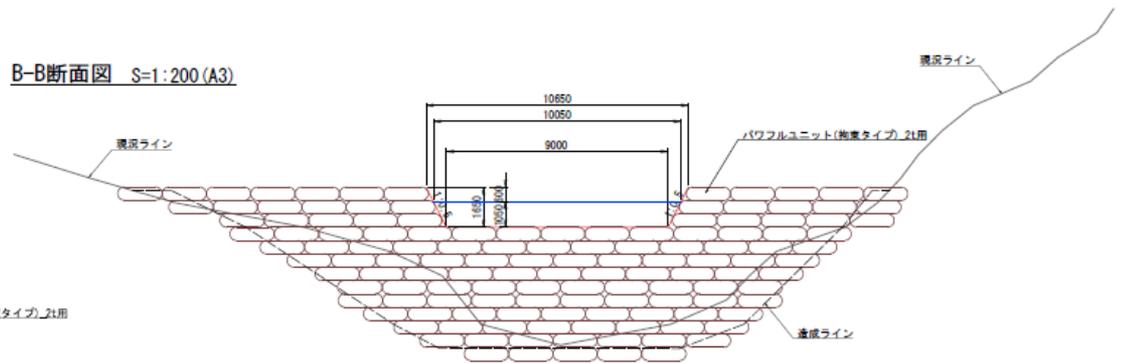
沈砂池パワフルユニット配置平面計画図 S=1:200 (A3)



A-A断面図 S=1:200 (A3)



B-B断面図 S=1:200 (A3)





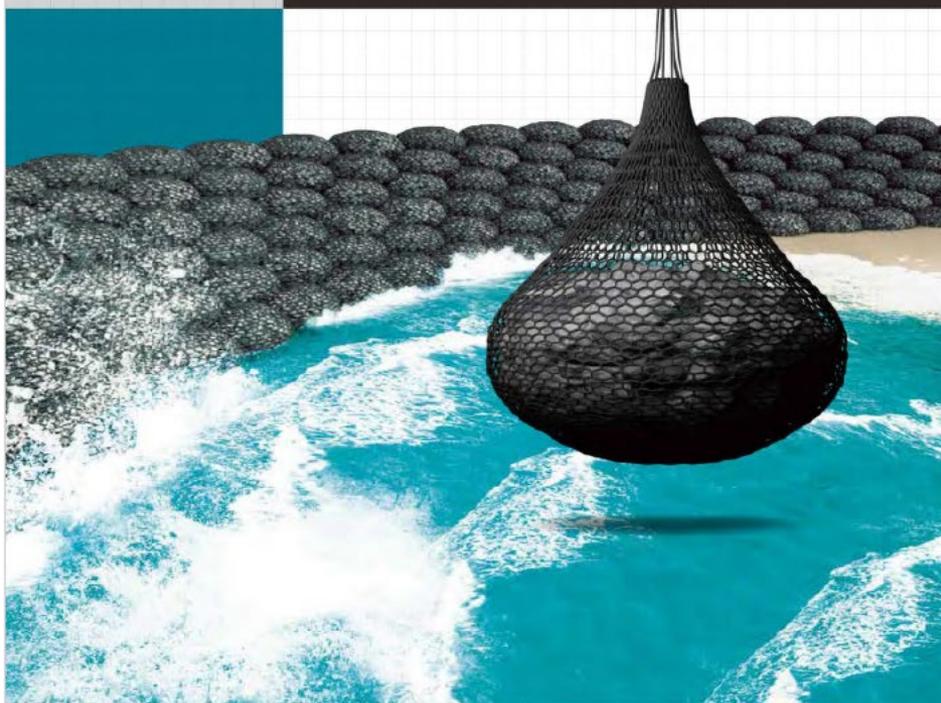
MAEDAKOSEN

Powerful Unit (パワフルユニット)

袋型根固め工法用袋材

パワフルユニット

国土交通省袋型根固め用袋材性能規定(長期性能型)適合品
港湾関連民間技術の確認審査・評価事業評価技術 第18002号
新技術情報提供システム NETIS 登録番号 CBK-120003-VE



前田工織

袋型根固め工法用袋材

パワフルユニット



ポリエステル繊維を使用した、極太ラッシュェル網地による袋材です。網地が太いため、耐久性に優れています。

海岸堤防の根固め、海岸護岸などの緊急時の水防資材としてお使いいただけます。

また、海岸のみならず、砂礫の移動による摩耗が懸念される河川においても高い耐久性を有しています。

港湾関連民間技術の確認審査・評価事業評価技術

第18002号



Renewal

網地に挿通させた中間口絞りロープを結束させることで余分な網地を絞り、中詰材を拘束することができます。中詰材を拘束することで、波浪による中詰材の移動が低減され、網地の摩耗が減り、耐久性が向上します。

■中間口絞りロープ無し



■中間口絞りロープ有り

